

この会報は会の関係機関の方、協力者、遠方にお住まいの会員のため作られています

思いつき

ボランティアグループおもいつき会報
2018年10月〈反省会后号〉5号

2018年興津臨海と反省会

2018年の興津臨海も8月4日(土)～8日(水)にかけて実施され、無事に終わることができました(8月3日設営)。これもひとえに参加施設、関連団体、地元興津(守谷)の皆さん、何よりボランティアのメンバーのご協力のおかげです。

以下に今年の参加施設を掲げておきます。

第1班(8月4日～6日) 杉並学園、聖友学園、西台こども館、品川景德学園、聖ヨゼフホーム、赤十字子供の家
第2班(8月6日～8日) 調布学園・第二調布学園、目黒若葉寮、まつば園、希望の家、東京都八街学園

反省会(2018年9月22日〔土〕)

今年は反省事項をnetで募りました。それをweb上で見られるようにして、また意見を書き込むという形式で、まずは反省事項を挙げてもらうようにしたわけです。そのような形式にしたことで、活発に意見が出てきました。以下、反省会の議事録です(一部割愛)。

反省会議事録

1 反省事項の共有

配布資料参照の下で、それに加えた提案と議論

2 海

人垣が歪んだ時の修正方法 職員・子ども・スタッフに笛の使い方を認知させる。海の初回に、笛のパターンについて説明する。

マニュアルの認知を上げる マニュアルの改定もあり最近、マニュアルの配布が遅くなっていたが、来年は配布を早くする。

海から風呂へ送るやり方 監視の人員も減っていくし危険ではないか →海から上げるのにもいくつかパターンがある。それぞれ一長一短あるので、まず各パターンを列挙し、議論していく

全体の結論として 上記のことを新たに(改訂?)海のマニュアルを作成し、役員会等で議論していく。

3 衛生

がくえい寮内の冷蔵庫に常備する飲料は使い切りのペットボトルなど使い切りにする。作った日にちが分からない、容器は洗ったのか分からない等の理由から、スポーツドリンクなどの粉末を使用しない。その容器に使われていたデカンタは食堂から勝手に持ち出されていたらしい、食堂業者さんも困っていた。

4 助成金

上期に申請した助成金に落ちたので、約20万円足りない。今は、下期に申請する候補をいくつか挙げていて、申請の準備中である。会員へのお願いとしては、助成の話が何かあれば教えていただきたい。そして、一般寄付を集めていただきたい。

5 寄付

9月1日開催の役員会において、七戸さんがリーダーとなって寄付金活動計画を進めていくこととなった。会の休眠期間となる下期(9月～翌年3月)に会として何か活動できないか、臨海本番にしか参加できない人も巻き込んで何かできないか、という動機から提案された。

活動の候補としては、イベント・フリーマーケット・街頭活動・絵本の作成・LINEスタンプの作成等がある。寄付に賛同してくれる人の動機には、活動内容・意義への共感からというのが多いので、それらを伝えるためには、スタッフがおもいつきをよく知り、ボランティアの理解を深める必要がある。

いつまでもなくならない〈虐待〉をせめて減らそう!

虐待ダイヤル 189 (児童相談所全国共通ダイヤル)

「虐待かと思ったら」とPRのホームページにありました。痛ましい犠牲者を出さない、出させないの気持ちで活用下さい。

東社協からの原稿依頼がありました。

東社協(児童部会)が発行する研究誌『児童福祉研究2018』(2019年3月発行予定)に、**当会の取り組みを紹介する文章**を、との依頼を受け杉山が担当し、9月末なんとか無事に原稿を送付することができました。来年3月発行予定です。

その際には、会員分その本をもらえないでしょうから、なるべくこの会報の紙面でご紹介するつもりです。

会費の納入(年2500円)・あわせて、寄付のお願い

会費は昨年度の方が未納の方(今年度は興津で徴収します)、年間2500円です。

きびしいおもいつきの財政状況の中、会長を中心に助成金獲得を目指して数々の申請を行っています。それでも、なかなか通らないのが現状です。それをいくらかでも助けるために、まずは身近なところから。

口座番号 00110-5-64768 加入者名 ボランティアグループおもいつき

ボランティアグループおもいつき会報「思いつき」

送付元：〒214-0014 川崎市多摩区登戸318-2E 杉山精一(副会長：会報担当)

お問い合わせ用メールアドレス：sugiyama-s@jcom.home.ne.jp

